

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	舞鶴市西消防署庁舎	階数	地上3F
建設地	京都府舞鶴市	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	XX人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年4月4日
敷地面積	3,351 m ²	作成者	鳥
建築面積	1,216 m ²	確認日	2024年●月●日
延床面積	2,733 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>舞鶴の「防・まもり」の核となる消防庁舎基本理念、基本整備方針、舞鶴市地域エネルギービジョンにおける将来目標をもとに、日本海防の防の拠点・舞鶴に相応しい消防庁舎を実現する。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>卓越風の吹く西側に開閉可能な窓を設け自然風を取り入れる。窓の前にはレンガスクリーンを設けグレアを抑制しつつ自然光を最大限取り入れる。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>ゆとりのある執務スペースと、多目的に利用できる休憩スペース兼ワークラウンジの整備により生産性を向上する。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>舞鶴の港をイメージさせる「赤れんが」や、湾を取り巻く山々の「木の温もり」の感じられる素材を象徴的に使い、舞鶴の歴史をつなぐデザインとする。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率機器の採用により消費エネルギー量を低減する。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない材料、リサイクル材料、ノンフロン断熱材等、人と地球にやさしい材料を採用する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>中央の臨港道路側に車両出入口を業約し明快な車両動線とする。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される